

夕顔

- 素直さと意外性が生む魅力
  - 飾らない素直な性格
    - 中流貴族でありながら
    - 上流貴族の男性を惹きつける魅力
  - 恋仲
    - 
      光源氏
      - 夕顔が和歌を詠んでアプローチ
      - 意外性が光源氏の興味を引く
    - 
      頭中将
      - 夕顔の元恋人
      - 身分の高すぎない女性に魅了
- センスが光る和歌
  - 『源氏物語』内の数ある和歌 ― 夕顔の和歌が印象的
  - 
    夕顔と光源氏との短い恋
    - およそ十首もの和歌を交わす
    - 歌に思いを込めて贈り合う
    - 二人の洗練されたセンスと感性
- 恐怖に満ちた衝撃の最期
  - 光源氏が見た夢
    - 美しい女性が夕顔に取りつこうとしていた
    - ⇒ 目を覚ますと、隣で夕顔が息絶えていた
      
  - 二人の短い恋の終焉
    - 思いがけない悲劇的な別れ
    - 若き命が奪われるという衝撃的な最期